

委員会だより

< 2月3日(日) 13名出席 >

- ◆ 第5地区の報告(石井三雄さん):
 - ◆ 昨年度は大船、梶ヶ谷だったが本年度は片瀬と藤沢が幹事教会となった。
 - ◆ 平和巡回のワーキングメンバー1名選出必要
 - 注: 横浜大5地区7つの教会と幼稚園など7団体で形成されるワーキンググループ。
 - ◆ 最初の打合せ2月17日午後2時から藤沢教会で行う。
- ◆ 2002年1月度財務報告(甲斐さん):
 - ◆ 2月2日横浜教区の監査監査を受け、問題なく終了。
 - ◆ 財務報告のフォーマットを本年度より改訂した。
 - ◆ 1月度会計では、一般会計、建設会計、愛の献金ともに特記事項はない。
- ◆ 年間予定表の件:
 - ◆ 3月の例会が23日となっているが17日とする。
 - ◆ ご復活祭までのごミサ予定:
 - 3月10日 赦しの秘跡 森田神父
 - 3月30日 大掃除 10:00am
 - 3月28日 聖木曜日ミサ 7:00pm 鶴飼神父
 - 3月29日 聖金曜日ミサ 7:00pm 上杉神父
 - 3月30日 聖土曜日ミサ 7:00pm 上杉神父
 - 3月31日 復活祭ミサ 10:00am 鶴飼神父
 - ◆ ご復活パーティには予算は50,000つけてある。婦人会にお願いします。酒類は壮年会準備。(これに関連し、12月のクリスマスのケーキ50,000円は反省課題だった。オードブルの量も含めて要検討。)
- ◆ 湘南短期キリスト教セミナー(小野寺さん):
 - ◆ 担当教会は片瀬教会。総合テーマは「共に生きる喜び」
 - ◆ 片瀬教会が候補者と4月までに交渉して、その結果を各教会に連絡する予定。
- ◆ 中和田教会規程の改定:
 - ◆ 現実と規程の乖離がある条項(※)が増えて来ており、規程を現実に合わせて変更することには山崎神父様も同意されている。
 - (※)例えば、「婦人会長」は「教会委員」なのか?が不明確、等々。
 - ◆ 規約見直しグループをつくって今年中に案を作成、来年の総会に諮る。
 - ◆ 委員会、壮年会、婦人会 それぞれ2名のメンバーを選出。本件は例会で話をする。
- ◆ 聖歌隊に関する課題提起:
 - ◆ しっかりやるか、または自然消滅させるかをはっきりさせたい。
 - ◆ 教育養成費をもっと前向きに使う提案も総会で出たことでもあるし検討を進める。
 - ◆ 花坂さんが石井さんと相談する。
- ◆ 子どものスリッパの件
 - ◆ ごミサの最中にパタパタ歩く音が非常に気になる。
 - ◆ 父兄に注意して頂くことをお願いすると同時に、子ども用スリッパを少し揃える。
- ◆ 山崎神父様のご寄付:
 - ◆ いつまでも神父様に頼っているのはまずい、自立すべき、というご提言を信徒総会で東原さんから頂いた。
 - ◆ 収入源で最大はバザー収入である。もう少しみんなが関心をもつべきである。
- ◆ 灰の水曜日以降の十字架の道行きのごミサ: 1:30pm開始とする。
- ◆ 電気容量オーバーの件: 漏電チェックをする。
- ◆ 聖歌の集い: 本年度は5月26日に戸塚教会で開催。

壮年会だより

< 2月17日(日) 9名出席 >

- ◆ 委員会報告(2月度)
 - ◆ 主たる議題、3月ご復活祭行事について(教会報参照)
- ◆ 議案
 - ◆ 3月の聖書朗読: 3/3 下村さん 3/24 竹内さん
- ◆ その他
 - ◆ ご復活祭のパーティに、飲み物を壮年会が負担する件・⇒・皆さん了解
 - ◆ 一粒会報告・・2/6 大船教会にて神父様の養成について、量より質を、充実させたいとの話があった。神学校でも、礼儀が守られていない、(例 挨拶の祭ポケットに手をいれたまま) 藤沢教会でレクリエーションを検討している、第五地区合同でやる事を考えている、各教会の参加を希望している。
 - ◆ 第5地区宣教委員会が、計画している行事の、ワーキングメンバーについて石井さんに、お願いします
 - ◆ 一粒会の報告の礼儀に関し、若者に対する躰について、いろいろな意見が出た、今後も、折に触れて話し合っていきたい。

婦人会だより

< 2月17日(日) 33名出席 >

- ◆ 委員会報告(委員会だより参照)
 - ◆ 婦人会関連事項
 - ① 教会規約の検討委員として、婦人会からは青柳さん、岩崎さんを選出しました。
 - ② ご復活祭の準備について、3月30日(土)10時より大掃除、卵ゆで 3月31日(日)10時より復活祭ミサ、その後パーティー教会でおすしやオードブルなどが用意されますが、持ち寄りも歓迎します。ただし、容器は各自その日のうちにお持ち帰りください。
 - ③ バザーの奉仕日について 毎月第1と第3木曜日・1時~4時まで、「糸の会」を中心にした奉仕日を設けます。3月から実施しますので、ふるってご参加ください。
 - ④ 宮寄幸子様が入院中です。霊的花束をさしあげます。
 - ⑤ 石川さんのフリーマーケットの販売収益が7600円になり、バザーの収益金として入れていただきました。
 - ◆ お知らせ
 - ① 『聖歌の集い』について・(花坂) 5月26日(日)、戸塚教会で行なわれます。そのための練習が戸塚教会、二俣川教会で行なわれます。掲示しますので、参加ご希望の方はご記入ください。
 - ② 「日本信徒マリアニスト共同体」主催コンサートのご案内・(石井) 3月22日(金)18:30より、東京カテドラルにて開催。暁星小学校合唱団が、アジアの子どもたちの教育支援のために歌います。掲示ポスターをご覧ください。
 - ③ 婦人同志会より・(阿部(映)) 総会: 5月14日(火)、山手教会にて。司教様のミサがあります。遠足: 6月28日(金)、清里方面。聖公会の聖堂でミサがあります。小淵沢の美術館なども訪ねる予定です。
 - ④ お礼・(位田) 2月16日(土)、聖母の園で挙行の川原様お嬢様の結婚式に、多数参列、お手伝いありがとうございました。
 - ⑤ 教会報への原稿をお願いします。
- 次回例会は、3月17日(日) 当番はC地区です。



広報 なかわだ

第278号

3月の予定

枝の主日	3月24日
復活の主日	3月31日
委員会	3月3日
壮年会、婦人会	3月17日
サロン	3月10,24日
レジオ	3月8,15,22日



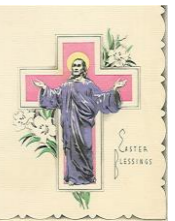
2002年 3月号

中和田カトリック教会
 広報委員会発行
 泉区中田北 1丁目 9-1
 Tel. (045) 803-6141
 平成14年 3月 10日



新たな目覚めの日

山崎 正俊



パウラ・モンタルさんは、今日、東京の大司教座聖堂で、列聖感謝ミサがささげられました。私はこのおかたの評伝を読む恵みを与えられたことによって、生みの母に対する誤解を改めさせられることになりました。そのわけで、82歳の誕生日を数日後にひかえた土曜日に、長年の夢からめざめさせられるのです。そして、長生きがむだではなかったと、感謝できることにさえたのです。以前の月報にお知らせしたのですが、あれ以来、パウラ・モンタル狂徒にもなりましたが、これは、はじめてのことです。カトリック新聞で、「カシコイ娘とオロカナ娘」の、おどろくべき解説を教えられたからです。それは、その年の待降節の第一の主日の前日のこと、ある司教様の名によるものです。

これはまた、約40年まえの、カトリック学生連盟の全国大会の思い出ですが、いまでも忘れることの出来ない、或る若い神父様のお話しです。私もその大学の4階の大教室で、よきサマリア人のたとえ話を聞いていました。「あなたも、そのようにしかできない人になりなさい」とイエズスさまは、さとされましたと、その声は私の耳にきこえました。ひどいことをしている強盗のことは非難されていないので、それまでの私は、聖書では言葉がいくらか足らないので、話す人も聞いた人もその意味がわからないままに書き残しているのかと不思議に感じて、そのままにしているのか、ここでは、「サマリア人の愛のおこない」だけを教えようとしておられるのであろうなんて、わかったつもりになり、まことの愛・イエズスさまの愛とは、これだったのかと、はやとちりもいいところ、聖書の舌足らずには、このようなわかりにくさがあったのかと思ひこまれたのです。

いま、はじめて、問題点に近寄り、云わずもがなの、あの司教様の読みすぎと云いすぎは、私の幼いときの先入観によるヒガミによるものでした。なぜ、あの司教様の、天国には入れるカシコイ娘への弁護しすぎ(地獄に落とされるはずのオロカナ娘へのツメタサがあるのには触れないままに、これは世の終わりの公審判のことだときめつけられた理由)が、私にはわかりにくかったのです。そして、若い神父様のお言葉に感動していたのは、イエズスさまの愛についての思い込みがあったのです。おふた方のお言葉はなんということであったのか、世の権力者にたいする私の反感によるユガミがあったせいでしょう。

このような経験をかさねながらのうちのことで、やっとな進展が見られ、このごろの、或る青年の「洗礼の日」を待ちながら、反省するところがあるのですが、私の信仰はこのようにして、右に左に曲げられ改めさせられてゆくのでしょうか、遅すぎ、浅すぎ、簡単に決めつけられすぎでも、それしか別の道がないのでしょうか。

そんなことはどうでもよく、聖書によるならば、そのおこないによって、信頼されるのです。イエズス様は、十字架の上で、自分を裏切る人の赦しと救いを祈っておられる。コルベ神父様は、すばやく、身代わりになる決心をなさいます。「そのやさしいマナザシによって、おわりをまっとうなさいませう」。

(2002. 2. 23)



森脇信行様ご一家からのフランスだより

4月よりパリ日本人学校で勤務しています。慣れない土地で、言葉の壁を乗り越えて家族4人支え合いながら頑張っています。フランスでの生活で、家族の絆の深さを感じることができました。この土地での生活が爽やかなものとなるよう家族みんなで力を合わせていくつもりです。本年もよろしくお願ひいたします。

近況報告

信行: 11月14日に総合の研究授業をやりました。1月15日に3年生の卒業式を迎えます。少々疲れ気味。それでも毎日ワインを一本あけています。

彰子: フランス語と料理がだいぶ上達しました。ポークストロガノフとムールのワイン蒸しが得意料理。一週間に一回は作っています。機会があったら食べに来てください。

留美: 毎日休み時間に一輪車を練習しました。今では一輪車が得意になりました。保健係の仕事と算数の勉強と音読を今頑張っています。

真美: レアーとキャミユとエリザとリザが今のお友達。でも、私の言うことがあまりわからないみたい。宮ノ台幼稚園のお友達に会いたいな。



Joyeux Noël et
Bonne année!

第10回典礼研修会

標記研修会が、去る10月7日鎌倉の雪の下教会で開催され、三つの分科会(「聖書朗読」「詩篇歌唱」「共同祈願」)に分れて、研修が行なわれました。各分科会の内容を3回に分けて報告して頂きます。

その3:「詩篇歌唱」分科会より

岩崎好愛



答唱詩篇、それは聖霊による愛の交わりであるミサの中で、旧約書と使徒書の朗読の間にあって、おん父に捧げる賛美であるとともに、神のことばの黙想を助けるという意味で、典礼の面からも司牧の面からも重要な意義をもっています。

答唱詩篇は、文字どおり「答唱句」と「詩篇」からなっており、会衆は通常答唱句によって参加し、座ったまま歌唱者が唱える詩篇に耳を傾けます。従って、詩篇の歌唱者はその内容をよく理解し、それに合った歌い方をしなければなりません。「ことば」としてははっきり聴き取り味わうことができるように歌うのが望ましいのです。

というわけで、さっそく実技指導が行なわれました。本来的には詩篇歌唱者は一人で朗読台で歌うのが普通なのだそう(中和田教会では聖歌隊が歌っていますが)、参加者の中から無作為に指名された人が祭壇上で歌うか伴奏をするかし、それに基づいて指導をするという形態がとられました。「当たたらどうしよう」とドキドキしましたが、幸いに当らずにすみませんでした(ヤレヤレ)。指名されたみなさんがどなたも堂々と歌われるのには驚き、感心いたしました。

「歌は祈りである」と言われますが、旧約の時代から今日に至るまで、賛美、感謝、嘆願、信頼を込めて祈り継がれてきた詩篇は、歌唱をとおして更にキリスト教の深い祈りとして完全な意味をもつこととなります。人間の心は、時代、場所、文化は異なっても、本質的には同じなものですから、詩篇は現代でもなお新鮮さを失うことなく、神への話し掛けのことばとしてこれからも歌い、祈り継がれていくことでしょう。

毎週日曜日、聖歌隊の一員として歌わせていただいていること責任みたいなものを感じながら、これからは一層みなさまの心に深くしみわたるように、詩篇に対する理解を深め、祈りの心をもって歌い続けていきたいと思いました。

お知らせ

おめでとうございます

ご出産

2002年1月27日、保科道成さん・保科桂子さん夫妻にご長男『貴大くん』誕生。

ご結婚

鮫島 誠さん 2002年2月16日、於：聖母の園聖堂 司式：山本遼神父
マリア川原照美さん

本庄智隆さん 2002年2月20日、於：中和田教会 司式：山崎正俊神父
テレサ武田順子さん

御復活のミサ 3月31日(日)10時より。ミサ後御祝パーティーを実施。

ミサ 当番表 (2002年3月、4月)

月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン	月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン
3/3	四旬節第三主日	壮年会	森 田	4/7	復活節第二主日	壮年会	岩 淵
3/10	四旬節第四主日	青年会	美 底	4/14	復活節第三主日	青年会	森 田
3/17	四旬節第五主日	婦人会C地区	岩 淵	4/21	復活節第四主日	婦人会D地区	美 底
3/24	枝の主日	壮年会	森 田	4/28	復活節第五主日	壮年会	岩 淵
3/31	復活の主日	婦人会C地区	美 底				

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。

江尻迪子様からの手紙(中国・大連より)

Merry Christmas and A Happy New Year!

お便りも何も差し上げずに過ごしておりますうちに、今年も余すところ僅かとなりました。

今回は、私は昼間授業がありませんので、神父様のご忠告に従って少し中国語の勉強を始めましたが、予習と復習と食事の仕度だけで日々が過ぎ、買物も主人が街の中心に用事があって出掛ける時に頼むという日々を送っています。でも、残念ながら、中国語はちっとも上達しません。

こちらの寒さは言葉では言い表せない寒さですが、主人共々何とか元気に過ごして居りますので、他事ながら御休心ください。

神父様はじめ皆様方によりしくお伝えくださいませ。ではお元気で。

